



広報 えりも

Public Relations Erimo



昆布からひもどく
美活&健活と大人の食育
昆布大使・だしソムリエ
金子由美氏



防災クッキング中の飛騨主任(左)

女性大会で大人の食育

第62回えりも町女性大会が、2月24日に福祉センターで開かれ、町女性団体連絡協議会(川崎尚子会長)の会員60人が、食育や災害時の食事について学びました。

午前の部は、フードコーディネーターで昆布大使・だしソムリエの金子由美さんを講師に迎え「昆布からひもどく美活&健活と大人の食育」と題して一般公開の講演が行われ、80人が来場しました。金子講師は、料理や化粧品に使われているコンブを活用することで、美しく健康になるコツなど、コンブの魅力を語りました。

午後からの実技は、日高振興局地域創生部地域政策課の飛騨剛主任が「今日からできる減災、避難所を」いつもどおり「に、サバイバルクッキングに挑戦」と題し、災害時の食事の極意を伝授。会員は、ポリ袋に材料を入れ湯せんで作る「蒸しパン」と「具入りオムレット風」を教わりました。

令和2年度 執行方針

新年度のまちづくり方針決まる

3月定例町議会が3月10日に招集され、議員6人から10件の一般質問があり、条例改正、新年度予算など、提出された議案はすべて原案どおり可決され、19日に閉会しました。開会初日に、町長と教育長が述べた新年度の執行方針を要約して掲載します。



町長 大西 正紀

ク環境の構築、汚水処理施設共同整備事業(MICS事業)の実施に伴う日高東部衛生組合への負担金など、投資的な経費の増額がその主な要因であります。財源につきましては、国と同様かなりの部分を地方債で賄うこととなります。

第5回定例町議会の開会にあたり、町政執行への私の所信を申し上げたいと存じます。

本町における令和2年度的一般会計予算総額は、昨年度よりも金額で6億8千万円、15・2%増の51億5千万円を計上しており、これは直近の10年間において最も大型の財政出動を行う予定となっております。

学校プール建設、小・中・高等学校における高速大容量通信ネットワーク

また、令和3年度には防災行政無線

の全面的な更新が予定されておりますが、この事業の財源につきましては、大部分を地方債に依存しなければならぬことから、後年度以降に発生する元利償還金の増を見据え、あらゆる経費について、削減や廃止も含めた効率化を、今まで以上に推し進めて参りますので、議員はじめ、町民のみなさんのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、新年度の重点施策について申し述べます。

活力ある地場産業をばぐむまちづくり

水産業の振興

本町の主要産業である漁業を取り巻く状況は、昨年、秋サケは3年連続で不漁となり、また、その他の漁業についても、増減はあるものの数量・金額いずれにおいても一昨年を下回る水揚げとなりました。地球温暖化が進むなか、海洋環境の変化が著しいことから、今後も予断を許さない状況が続いております。

昆布については、数量・金額ともに一昨年を上回りましたが、気象条件や繁茂状況により、採取日数や水揚量に増減があることから、関係機関と連携し、資源の維持増大と安定した生産を目的に、雑海藻の駆除を主体とする水産環境整備事業などの漁場整備を継続いたします。

また、漁船の取得や漁業施設など、漁業資本装備の高度化を図る漁業近代化資金をはじめ各資金の利子補給についても、漁業者の経営安定を図るため支援してまいります。

漁業後継者の対策は、北海道漁業研修所に係る総合研修費の助成を行うほか、関係機関と連携し育成に努めてまいります。また、近年、漁船乗

組員が不足していることから、道や漁協と連携し、その確保にも努めてまいります。

栽培漁業えりもセンターにつきましては、昨年同様6月に栽培漁業伊達センターからマツカワ稚魚を搬入し、中間育成を行い、日高管内栽培漁業推進協議会と連携して、9月から町海域を含め日高管内に50万尾の放流を予定しております。

また、水産資源の増大を目的として、ハタハタ、マガレイの種苗生産や、エゾバイ(豆ツブ)の卵塊の放流を引き続き実施いたします。漁獲量が年々減少しているエゾボラ(マツブ)については、北海道大学などと連携し、より効率的な種苗生産に向けた飼育環境の検討や年齢及び成長について調査を実施いたします。

アザラシ対策については、環境省が主体となり「えりも地域ゼニガタアザラシ特定希少鳥獣管理計画」及び実施計画に基づき、秋サケ定置網での被害防除対策を実施し、ゼニガタアザラシの個体群管理については、昨年の結果を踏まえ、今年度も捕獲を計画しております。町といたしまして「えりも地域ゼニガタアザラシ保護管理協議会」等において関係機関と連携し、問題解決に向け努力してまいります。

商工観光業の振興

商工業においては、町外やネットショッピングへの消費の流出など、ますます厳しい経営環境が続いています。本年も商工会が実施するプレミアム付き商品券発行事業に対して、引き続き支援を行うことで町外に流出する消費を食い止めるとともに、商工会や本町商店街協同組合が取り組む経営改善事業や地域振興事業について支援を継続してまいります。

観光振興については、本町の豊かな資源を活用した体験型・滞在型の観光地づくりを引き続き推進していくため、えりも観光協会、日高東部3町と広尾町で構成する四町広域宣伝協議会、漁家等での民泊体験を実施する日高王国などと連携してまいります。

えりも観光協会が行っている襟裳岬でのコンブボートクルーズは、天候に左右されるものの、利用者から好評を得ていることから、町としても積極的に支援してまいります。

豊似湖については、民間旅行会社と連携したヘリコプターによる遊覧ツアーが、周知によって年々利用者が増加していることから、引き続き実施いたします。

また、「森と湖の里ふれ愛館」については、地元食材を使用したオリ

ジナルメニューの開発や展示内容を充実させるなど、観光客や地元の方に喜んでいただけるよう努めてまいります。

春の「えりもうに祭り」は、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮し、残念ながら中止が決定となりましたが、夏の「えりもの灯台まつり」、秋の「えりも海と山の幸フェスティバル」などのイベントについては、各実行委員会との連携を図り、より多くの方に楽しんでもらえるよう支援してまいります。

襟裳岬「風の館」、百人浜オートキャンプ場などの各観光施設については、今後も効果的かつ効果的な維持管理に努め、利用者に親しまれる運営を行ってまいります。



森と湖の里ふれ愛館のキンキの煮付け定食

映画制作

えりも岬の緑化事業を題材とした映画「北の流水」(仮題)については、えりも、浦河、様似、広尾の4町と浦河町出身の田中光敏映画監督による制作準備委員会を設立し、制作に向けて協議を続けております。

今年度は、支援企業まわりや、ふるさと納税の活用等による制作資金集めを積極的に行うとともに、地元での応援体制づくりを進めることで、2021年度の制作開始を目指して、4町で引き続き力を合わせて努力してまいります。

農業の振興

農業については、就業者の高齢化と恒常的な資材・運賃等の高騰など、各種の問題が山積しており、依然として厳しい状況にあります。

肉用牛については、黒毛和種の素牛価格が、ピーク時と比較して値下がりとなりつつも引き続き堅調な価格で推移している一方で、繁殖牛の高齢化の割合が依然として高い状況にあることから、肉用牛繁殖素牛の子返し制度による素牛導入や優良繁殖後継牛保留奨励事業などによる繁殖牛の更新・能力向上に向けて支援を継続いたします。

また、平成25年に町内で患畜が見つかりました牛ヨウネ病につきまして、北海道ヨウネ病防疫対策実施要領に基づき、引き続き発生農場での清浄化対策を実施するなど、関係機関と連携し、清浄化に向けた努力をしてまいります。

数年おきに大発生するコガネムシについては、光を用いた誘殺灯により成虫の駆除をしつつ、成虫発生の予測を継続いたします。

町内大和地区に建設が進んでいる北海道中央牧場による子豚繁殖牧場は、本年春の完成を目指し工事が行なわれており、完成済みの豚舎には親豚の導入が始まり、6月からの本格稼働が予定されております。

エゾシカや、町内での生息が拡大しており被害の増加が心配されるアライグマ等の鳥獣による被害対策につきましては、引き続きえりも町鳥獣被害防止計画に基づき、計画的な駆除を実施するため、猟友会等の関係機関と連携を密にするとともに、安全に十分配慮して実施いたします。

また、エゾシカ侵入防止柵については、定期的に保守点検を行い維持管理に努めてまいります。

林業の振興

林業については、昨年度から自治体への配分が始まった森林環境譲与税を新たな財源として活用しながら、引き続きえりも町森林整備計画に基づいた各種施策を計画的に実施することで、森林の持つ公益的機能を発揮させるための森林資源の適切な整備及び保全を図り、豊かな森づくりに取り組みます。

また、ひだか南森林組合による「木質系バイオマスチップの生産事業」につきましても、未利用間伐材等を有効活用することで、地域林業の活性化につながることから、町といたしましても引き続き間伐事業を推進してまいります。

緑化事業につきましては、えりも岬の緑を守る会の事業として、日高南部森林管理署の指導と一般財団法人セブン・イレブン記念財団の支援を引き続き受け、春には庶野曙地区において「えりもワクワク森林づくり体験事業」の植樹祭、秋にはえりも岬国有林内において「えりもイキイキ森林づくり事業」の枝払い等の育樹祭を行うこととしております。さらに、中高一貫教育の中では、生徒が緑化事業の歴史を学ぶことにより、この緑化事業を次の世代へと引き継

ぐ取り組みも続けて参ります。今後も町民皆様の参加と協力を得ながら緑化事業を進めてまいります。



えりもワクワク森林づくり体験事業の植樹祭(庶野曙地区)

**健康で安心して暮らせるまちづくり
保健事業**

健康でいきいきとした生活を送り続けるためには、青年期や壮年期前半など若い世代からの、検診を受けることに対する動機付けが重要となり、これは食生活をはじめとする生活習

慣を見直す機会にもなることから、引き続き各種のがん検診などについて積極的な受診勧奨を実施してまいります。

なお、現在、各種のがん検診等につきましても、受診率の向上を図るため、町が受診費用の一部を助成し、実施しているところでありますが、本年4月よりその助成割合を見直すことといたします。

具体的には、死亡率低減効果が科学的に実証され、国が推奨しているがん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、喀痰検査)については、町が検診費用の8割を助成することとし、それ以外の検診等(前立腺検診や肝炎検査、骨粗しょう症健診等)については、町の助成割合を5割とさせていただきます。より費用対効果に優れたがん検診を推進することで、効果的、効果的な事業運営を図ってまいります。

感染症予防対策では、予防接種法の一部改正により、ロタウイルス感染症が定期予防接種の対象疾病として追加されることとなりました。これまで、任意の予防接種として、町

がその接種費用の一部を助成してきたところでありませんが、本年10月からは、定期予防接種の位置づけとなり、対象となるお子さんの接種料は無料

となります。今後におきましても、感染症に対する正しい知識の普及啓発に努めるとともに、各種予防ワクチンの接種推進と接種費用の助成について、継続して実施してまいります。

歯科保健事業につきましては、引き続き北海道大学歯学部及び学校歯科医の先生にご協力をいただきながら、幼児から高校生までを対象とした、春季と秋季の年2回の歯科健診を実施してまいります。

また、本年度から新たに「歯周病検診」を、節目の年齢(40歳、50歳、60歳、70歳)の方を対象に実施します。歯を失う大きな原因となっている歯周病は、口の中だけの病気と思われるがちですが、近年、歯周病が全身の病気や健康状態に影響を及ぼすことが明らかになってきており、本事業を通じて歯科受診が、歯周病の予防や早期発見の一助となるだけでなく、自身の口腔内や身体の健康管理に意識を持つていただくきっかけづくりとしても有効となりますので、受診率の向上を図るため、町が受診費用について助成を行ってまいります。

母子健康対策では、安心して子どもを生み育てられる環境づくりとして、妊娠前、妊娠期、出産、子育てまでの各段階において、切れ目のない支援を講じているところであります。

引き続き、乳幼児健診、相談事業、訪問事業などの充実に努めるとともに、妊婦一般健康診査の無料化や妊婦健診等交通費助成、新生児聴覚検査助成、不妊治療費助成などについても継続してまいります。

高齢者福祉・介護保険事業

本町における65歳以上の人口割合、いわゆる高齢化率は、令和2年1月末現在で32・4%、前年同期に比較して0.8ポイント上昇しております。今後、ますます一人暮らしの高齢者世帯や夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者の増加が予想される中、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、自らが介護予防に取り組んで健康寿命を伸ばすなどの「自助」や、家族・友人・地域で暮らしを助け合う「互助」、公的介護保険・医療保険制度等の利用による「共助」、権利擁護や緊急通報システム設置事業等による「公助」をバランスよく組み合わせ、地域包括ケアシステムのさらなる確立に努めてまいります。

また、今年度は、第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の最終年度となりますので、令和3年度からの第8期計画について、給付実績の分

析や今後の需要動向等を十分に見極め、これまでの取り組みをより発展させた計画となるよう策定事務を進めてまいります。

障がい者への福祉支援

「障がいのある人もない人も、互いに支えあい、地域で生き生きと明るく豊かに暮らしていける社会を目指す」というノーマライゼーションの理念に基づき、障がい者の方の自立と社会参加の推進を図っているところでありますが、今年度におきましても、障がい者相談支援事業所等「ずをはじめとする福祉関係事業所等との連携を強化し、適切なサービス提供や支援体制の充実に努めてまいります。また、今年度は、障がい福祉サービスの必要量の見込みやサービスの確保の方法などについて定める第5期障がい福祉計画が終了することから、令和3年度をスタートとする第6期計画の策定に取り組んでまいります。

国民健康保険事業・後期高齢者医療

国民健康保険は、持続可能な医療保険制度を構築するため、平成30年4月から都道府県と市町村の共同運営となっております。財政運営の責任主体が北海道となり、急激な医療

費の増嵩等の際にも安定した保険運営がなされますが、医療技術の進歩や疾病の多様化等に伴う医療費の伸びは、今後も国保財政に大きな影響を与えることとなりますので、北海道国民健康保険運営方針に基づき、医療費の適正化について取り組みを進めてまいります。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を対象に、北海道内の全市町村で構成する広域連合が保険事業を運営し、窓口業務や保険料徴収業務等については市町村が行っております。引き続き、高齢者の健康維持のため、各種検診や健康指導の徹底を図り、広域連合と連携しながら後期高齢者医療制度の円滑な運営に努めてまいります。

診療所の運営

急速な少子高齢化の進展や人口減少問題、医療ニーズが多様化、増大していく中で、医療を取り巻く環境は大きく変化しております。また、近年多くの自治体病院において経営状況が悪化するとともに、医師をはじめとした医療従事者不足による医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっていくことから、今後の病院運営について大きな転換を迫られております。

国保事業の運営について 意見を交換

令和元年度の第2回えりも町国民健康保険運営協議会（勾坂将史会長）が2月28日、役場2階の庁議室で開かれました。

町の担当職員から、令和2年度の国保診療所会計と国民健康保険会計の予算案について説明があり、原案のとおり承認されました。

また、北海道国民健康保険運営方針の見直しにともなう、保険料（税）統一算定に向けたスケジュールや進め方について報告があり、国保事業の運営に関して意見が交わされました。



診療所については、基本診療の構造変化や患者数の減少により、運営の根幹である診療報酬は依然として厳しい状況にあります。また、本年度は診療報酬の改定が実施され、一部で引き上げがあるものの、全体ではマイナス改定となる見込みで、今後さらに厳しい運営が予想されます。

診療所は地域の医療機関として町民の命と健康を守ることを主眼に置き、一次医療や急性期医療に対応した診療体制の整備、医療従事者の確保、在宅訪問診療や目黒出張診療、さらには保健福祉課と連携を図り公衆衛生予防医療を推進し、疾病の早期発見、早期治療など医療を受けられる環境整備に努めて参るとともに、経営の健全化に努め、町民の健康増進や医療福祉の進展を図ってまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応

国内をはじめ道内においても、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、日高管内でも感染者が確認されたことから、本町におきましても、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、町民の皆様への情報提供の充実を力を入れるほか、役場窓口等におけるアルコール消毒液の配置、町職員に向けた注意喚起と窓口対応職員におけるマスク着用の徹底、町内

公共施設や関連団体への新型コロナウイルス感染症に関する情報提供に引き続き努めてまいります。

また、すでに町主催のイベントや会議、各種事業などにつきましては、新型コロナウイルスの感染及びまん延防止の観点から、法令などに基づき実施する必要があるもの以外は、中止又は延期することとし、さらに、不特定多数の方が集まる町内の各種公共施設につきましても、当面の間、臨時休館等の措置を取らせていただいているところでありますが、引き続き、今後の感染拡大の動向を注視しながら、各種イベント等の自粛や関係施設の臨時休館等の対応について検討してまいります。

町民の皆様には、ご不便をお掛けすることもあるかと思いますが、皆様の健康と感染の拡大防止を優先的に考えてのものですので、ご理解を賜りますようお願いいたします。今後におきましても、国や道と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいりますので、町民の皆様におかれましても、引き続きマスクの着用、咳エチケット、そして手洗い等による感染予防に取り組みますようお願い申し上げます。



役場窓口等におけるアルコール消毒液の配置と窓口対応職員はマスク着用を徹底

安全・快適なまちづくり

建設土木関係事業

道路の整備については、社会資本整備総合交付金を活用し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、大和地区の1橋梁の補修事業(実施設計)を行います。

町道や河川の維持補修をはじめとした町単独の土木事業は、緊急性や町民要望を踏まえ計画的に取り組んでまいります。

えりも港の整備については、老朽化対策改良整備計画に基づき、今年度完成予定の南外防波堤かさ上げ改良事業を中心に実施し、港湾機能

の充実に努めてまいります。

また、国道の越波防止対策や海岸保全事業、2級河川の維持補修、砂防事業、急傾斜事業等につきましても、早期実施を関係機関に要望してまいります。

住環境の整備

公営住宅の整備については、本年度、近浦団地の建替えを実施します。既設の公営住宅、町営住宅につきましても、適切な維持管理に努めてまいります。また、住環境の向上を目的とした個人住宅の改修等に対する助成事業は、本年度も継続して実施いたします。

水道事業

簡易水道事業については、老朽化した配水管の更新を計画的に進めるとともに、設備の適切な点検・管理や検漏メーターの更新工事を実施し、水道水の安定供給に努めてまいります。

また、3年計画で進めている浄水場や配水池等の機能を庁舎内で監視する計装機器の更新は、本年度2年目の事業を予定しております。

下水道事業

下水道事業の状況は、全対象戸数

1233戸の74.2%に当たる915戸が接続を完了しています。生活排水の浄化及び公共水域の水質保全など、生活環境の向上のため、引き続き下水道の接続を推進いたします。

下水処理施設については、汚泥貯留槽などの機械設備の点検・整備を強化し、適正な維持管理に努めてまいります。

衛生施設の整備

日高東部衛生センターは、昭和42年に供用が開始され52年が経過しており、当施設において今後も事業を継続していくためには施設の全面改修が必要となることから、浦河浄化センターをMICS事業により整備する計画が進められております。

令和2年度からは、MICS施設棟の建設が始まり、令和4年度供用開始に向けて、水処理施設・電気設備工事等が順次進められることとなっております。

減災・防災対策

近年、各地で想定外といわれるような大規模な自然災害が発生しております。

えりも町で最も懸念される災害としては、地震・津波であると考えておりますが、国において、千島海溝沿い

の巨大地震の発生が「切迫している可能性が高い」と公表したことから、想定される津波高の見直し作業を実施しているところであります。また、昨年、大樹町から広尾町を走る活断層の「光地園断層」において、新たに海底部分に活断層が確認され、想定される地震の規模も大きくなるため、今後、国の地震評価も見直しが想定されるということです。

そのため、町といたしましても「災害は必ずやってくる」という事を念頭に、地域防災計画の見直しに着手するとともに、避難所マニュアル策定など必要な準備や自助及び共助の意識向上に努め、自治会を単位とした自主防災組織の設立について支援してまいります。

また、防災行政無線については、電波法の改正による令和4年11月までの新スプリアス規格への適合及び老朽化や塩害による劣化のため、設備の更新に向けて実施設計に着手いたします。

地域公共交通の確保

町内の公共交通については、高齢者等の通院や買い物における移動手段の確保が大きな課題となっており、引き続き庶野から広尾間の路線バスについてはジェイ・オール北

海道バスに委託する方式で運行を継続し、タクシーについても通常営業の再開に向けて、事業者に対してできる限りの支援を続けてまいります。

また、災害により運休してから5年以上が経過したジェイ・オール日高線については、現在、代替となるバス路線の持続性、利便性の高い広域公共交通の早期確立に向けて、管内各町とともにジェイ・オール北海道と協議を行っておりますが、鉄路のないえりも町としては、新たに運行する予定のえりもく静内便や苦小牧便等の代替バス路線の内容や既存の日勝線との接続の利便性向上などについて、協議を進めてまいります。

交通安全運動の推進

えりも町内において、平成28年8月6日から継続しています交通事故死ゼロの日が、昨年5月2日に1000日を達成いたしました。

今後は、2000日(令和3年1月26日)を次の目標として、引き続き浦河警察署の協力を得ながら、えりも町交通安全推進委員会を推進母体に各自治会や事業所等との連携を深め、交通道徳の向上と交通事故防止のための運動を展開し、町民の皆様と一体となつて目標達成に努めてまいりますので、今後とも交通安全運動への

一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。



交通安全運動「旗の波作戦」(9月24日灯台公園前)

えりも町140年記念事業

本年は、明治13年(1880年)戸長役場が設置され、行政の基礎ができてから140年の記念の年となります。

今日のわがまちを築き上げてきた多くの先人のご労苦とご功績に感謝し、節目となる140年を、町民の皆さんとともに祝いたいと思っております。

記念式典や記念行事などの選定と実施に当たっては、現下の諸情勢を勘案し、過度にならず、ささやかながらも効果的なものとなることを基本といたします。



教育行政執行方針



教育長 川上 松美

当町においては、今後も高齢化や人口減少など、地域を取り巻く環境が大きく変化する中で、えりも町の将来を担う児童生徒が社会の変化を感じながら、ふるさとに愛着をもつて生活できる環境づくりが求められます。

そこで、教育行政にあつては、現状を見極めながら近い将来を見据えて、中・長期的な視点に立つて教育の推進に当たることが重要であります。

学校教育の推進

学校教育推進の基本姿勢

学校においては、教育の流行部分である情報化に対応し、「知・徳・体の調和の取れた教育」を推進することが重要であります。

これまで、教育委員会では、教育の質の向上を図るため、8つの経営の

基盤（組織運営、教育課程、生徒指導、健康安全、服務・勤務、施設管理、保護者・団体・関係機関、個人情報）を見据えて学校経営の充実を図るよう進めてまいりました。

その結果、令和元年度においては、えりも岬小学校が日高管内教育実践表彰を受賞したことや、知育・体育で小・中学校の全国学力・体力調査やえりも高校の進路結果で大きな成果が見られたことが上げられます。一方、家庭学習習慣や長期欠席者の課題も見られたところです。

そのため、令和2年度はえりもの教育環境を踏まえ、学校力・教育向上・えりも型地域学校の総括的な連携を進めるとともに、東洋小学校の統合準備、さらには通信ネットワーク環境整備と町民も利用できる学校プール建設をスタートさせ、『未来えりも学』をはじめ33項目を重点に掲げて「チームえりも」を進めてまいります。

知・徳・体の調和の取れた小・中学校の教育及び幼・小の接続

(1)児童生徒一人ひとりの3つの資質・能力を育む教育活動の深化

学校においては、急速に変化する社会に生き抜く力として、学ぼうと

する力（主体的に学習に取り組む態度）、学んだ力（知識・技能）、学ぶ力（思考力・判断力・表現力）の3つの資質・能力を育むことが強く求められております。

昨年度の全国学力・学習状況調査の結果をみると、概ね全国平均並みに大きく近づいたことや、一日当たり本を読む時間が全国平均と同様であるなどの良い傾向が見られる反面、休日以外の普段の家庭学習時間が少ないなど、家庭学習習慣の定着等が継続課題となっております。

そこで、本年度は、授業改善のキーワードを「凡事徹底」と「指導の深化」として、次の①児童生徒に育つてほしい資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント、②主体的・対話的で深い学びの授業改善をはじめ、4点を重点に進めてまいります。【③授業と家庭が結びつく学習サポートの充実（未来えりも学）以下「未え学」、④4つの授業改善策の学校間連携・地域連携（未え学）】。

教育環境では、国の施策「GIGAスクール構想」の方針に基づき、通信ネットワーク環境（校内LAN）の整備と端末機器（タブレット）の配置を計画的に進めてまいります。

(2)豊かな広い心と健やかな体を育む教育活動の充実

昨年度の全国調査の結果では、道徳の授業に積極的に参加したり、人が困っているときは進んで助けているや地域行事に参加しているなど、好ましい行動がある反面、一部に仲間意識が薄かったり、ネットなどの不適切な使用等、交友関係や家庭環境に課題が見られております。また、全国体力・運動能力調査の結果では、ハンドボール投げなどが優れているなど多くの項目が全国平均を上回っていることや、7年間継続しているフッ化物洗口が虫歯予防に役立つなどの成果が見られております。

そこで本年度は、豊かな広い心の育成では、次の①計画的・発展的な指導や保護者や地域と連携した道徳、②いじめアンケート調査の認知と教育相談・日常観察をはじめ3点を重点に進めてまいります（③小・中・高「いじめ根絶標語」（未え学）や「生活リズムチェック」）。

なお、本年度から①では人間関係の醸成をより図るため、6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習を町内全児童で一緒に実施し、児童間の交流を図ってまいります。

健やかな体の育成では、新体力テス

トの結果を踏まえ、次の①新体力テストの全学年実施と方策強化、②地域と連携した防災教育(未え学)をはじめ4点を重点に進めてまいります【③フツ化物洗口等の虫歯予防策(未え学)、④薬物乱用教室の実施】。

とりわけ、防災教育では、児童生徒はもとより、地域住民の参加を含めて意識高揚を図る一日防災地域学校を引き続き進めてまいります。

(3) 配置を必要とする児童生徒への支援の充実

近年、学校において配慮を必要とする児童生徒が増えている傾向にあり、外部の専門機関等と連携して指導や支援を図ることが一層求められます。

昨年度、当町においては、中学校で長期欠席者が目立ち、臨床心理士のスクールカウンセラーや学校保健福祉課、教育委員会等で構成するケース会議を開くなどして、対応に当たってまいりました。

本年度は、昨年度の2点に1点②を加え、次の①教育支援委員会や校種間・教育委員会・専門機関のケース会議など学校間・関係機関の行動連携、②不登校などの長期欠席者へのきめ細かな対応をはじめ、3点を重点に

進めてまいります(③個別支援検査等を踏まえた「個別の教育支援計画・指導計画」の作成)。

なお、配慮を必要とする児童生徒の支援を図るため、学校支援員を配置することや、スクールカウンセラーのカウンセリング回数を増やすことなど、不登校対策を保健福祉課と連携し、一層重視して進めてまいります。

(4) 幼児教育と小学校教育の接続

近年、幼児期における忍耐力や協調性といった非認知的能力の素地を身に付けることが不足し、その後の育ちに大きく左右することが課題となっており、そのため、幼児期の保育の充実はもとより、幼児期と児童期の接続を密にしていくことが強く求められております。

このことを踏まえて、当町においては、昨年度、幼稚園長、保育所長と小学校長による2回の合同会議や幼児教育施設と小学校との交流、幼保小合同研修会を行ったところです。

そこで本年度は、昨年度の2点に1点②を加えて、①幼・保と小の経営・指導交流、②スタートカリキュラムの作成をはじめ、3点を町民生活課や保健福祉課と連携しながら進めてまいります【③幼児と小学生の相互

交流(未え学)】。

東洋小学校の統合準備

教育委員会においては、平成30年5月から「極小規模校に係る地域懇談会」を各自治会、PTA役員、老人会、保育所PTA代表、学校評議員、学校関係者をメンバーとして、5回にわたって進めてまいりました。

最終的には、「児童のために統合やむなし」の結論に達し、来年度、令和3年4月にえりも小学校へ統合することを決定したところです。

本年度については、これまで月1回程度の児童交流が行われてきましたが、外国語の全て70時間や道徳、体育、その他の教科も含めて回数や時間、交流内容を増やし、月1回以上(2〜4時間程度)の交流授業を進めてまいります。なお、閉校式は、令和2年12月12日を予定しております。

夢が広がるえりも高等学校の教育

(1) 一人ひとりの進路実現を目指す教育活動の充実

本校においては、希望する進学・就職の進路実現を図り、卒業生は地元をはじめ、全道、全国各地で活躍しております。

令和元年度の卒業生の動向について

では、町内就職5名を含め就職決定率100%であり、進路決定状況は国立大学4名、私立大学3名、看護学校2名、専門学校8名、公務員2名、民間就職6名など、希望の進路実現を果たしております。

そこで本年度は、2年目となる2年間35人学級(今年度は段階的で1・2学年が35人学級)のよさを生かし、次の①英語検定や進学模試、商業検定の推奨、②多様な教育課程の編成・実施(未え学)をはじめ3点を重点に進めてまいります(③きめ細かな生徒指導と家庭との連携)。

(2) えりも高校ならではの活動の推進

海外研修については、生徒や保護者の意向を踏まえ、昨年度は進路指導などから1泊減らして、10月15日から18日の3泊4日で、有意義な研修となりました。

また、昨年度からは地域の産業や自然などを題材に探究型学習をスタートしました。

本年度は、次の①海外研修の計画・実施・評価(未え学)、②探究型学習の充実(未え学)の2点を継続して進めてまいります。

なお、海外研修は進路学習の関係で6月を予定し、海外情勢を見ながら進

めてまいります。また、引き続き海外研修の在り方を検討してまいります。

中高一貫教育の充実と小・中・高の連携・接続

当町の連携型中高一貫教育も18年目を迎えました。今後も『えりも高校がえりもの教育の最終章』という考えで進めるとともに、小学校との接続を一層、重視して進めてまいります。

そこで本年度は、連携では、次の①「中高一貫教育講師」等の乗り入れ授業をはじめ、3点を重点に進めてまいります②中・高生が互いに学び合う部活動、③小・中・高の連携を図るいじめ・不登校対策。

また、小・中・高の接続では、次の①「百人浜に学ぶ」植樹・剪定等の体験活動(未え学)、②英語・漢字・数学検定(未え学)をはじめ4点を重点に進めてまいります③高校3年生の小学6年・中学生への進路講話(未え学)、④昆布や猿留山道等の地場産業や自然を生かした総合的な学習(未え学)。

地域に信頼される学校づくりの推進

今日、学校はこれまで以上に地域との連携を深め、理解と協力を得ながら進めていくことが求められてお

ります。

そのため、まずは学校が、教育公務員としての法令遵守を徹底し、「守るべきことは守り、やるべきことをしっかりとやる」姿勢で、凡事徹底を図って信頼を築くことが必要であります。

また、教職員の「働き方改革」が社会問題となっており、当町においても、そのことを重く受け止めながら、業務の精選・重点化、時間短縮等を行うとともに、教職員の健康管理に注視して学校経営に当たるとよう指導し、進めているところです。

具体的には、一昨年度から、各学校の校務運営委員会を一層機能させることや、学校閉庁日の夏・冬計11日以上、設置、平常日の1日と休日の土・日1日以上、部活動休養日等を設定し、推進しているところです。

そこで、本年度は、次の①自校の状況に応じた「働き方改革」、②教職員の健康管理(学校閉庁日等)をはじめ4点を重点に進めてまいります③「KTSの誓い」等の服務規律の徹底④「えりも型地域学校」の推進。

社会教育の推進

社会教育推進の基本姿勢

社会教育においては、町民憲章の具

現化を目指し、人口減少と少子高齢化を見据えた「まちづくり」を進める上で、教育的な役割を果たすことが重要であります。

そのため、学校と地域が連携を図りながら、それぞれ互いに支え合う活動を推進するとともに、地域に向く社会教育の姿勢で、地域住民と共に学校の支援、地域づくりを進めることが大切であります。

社会教育活動の充実

地域活動においては、関係団体や学校と連携を図り、人々がつながり、助け合い、活気ある地域にしていくことが重要であります。

昨年度においては、専門的な知識を有する地域住民や高齢者の協力を得て、教員の研修や教育活動を支援しました。

そこで本年度は、①地域人材の提供(地域学校サポート本部の設置)、②地域学校協働活動の推進(未え学)を重点に進めてまいります。

芸術・文化の振興

芸術文化活動は、町民のうるおいのある生活を育む活動であるとともに、地域の文化コミュニケーションとしての役割を果たすことが大切であります。そのため、各種事業においては、

住民が進める主体的な文化活動となる支援が求められます。

昨年度においては、自らが主役となる町民文化祭の開催、鑑賞事業では、演劇や音楽を通して情操を高めることができました。

そこで本年度は、①各種団体・サークル活動への支援、②絵画等の芸術文化の鑑賞、オーケストラ鑑賞事業等の充実を重点に進めてまいります。

地域文化の継承

当町では、先人が築いてきた歴史と文化、郷土芸能を次世代に引き継ぐ活動が進められ、今後も、えりも文化の継承を推進することが求められます。

昨年度においては、国史跡「猿留山道」や、各学校における地域学習・体験学習、移動展示等を推進してまいりました。

そこで本年度は、①町民と共同での自然調査・体験事業への支援(未え学)、②指定文化財の周知、町指定無形文化財「えりも駒踊り」「襟裳神楽」等への支援(未え学)を重点に進めてまいります。

また、各学校とは、えりもの自然や歴史を学ぶ移動展示をはじめ、職員派遣による学校の学びの場への積極的な支援を行うなど「えりも型地域



担当職員と工作をする児童(本町放課後児童クラブ)

学校事業」を展開してまいります。

放課後児童クラブの充実

本町及び庶野放課後児童クラブについては、働いている保護者を支援する施設として運営しております。

昨年度においては、家庭学習の定着につながる学習時間を設定し、小学校・児童クラブ・家庭の連続性を意識し進めてまいりました。

そこで本年度は、①利用児童の安全・安心、②学び(家庭学習の時間)と遊びの節度ある生活を重点に進めてまいります。

気軽に入館できるライブラリー環境の充実

福祉センターの文化図書施設においては、各種資料の収集、整理、保存と蔵書の充実を図るとともに、学校巡回文庫の運行等を進めております。

昨年度においては、施設の一部利用時間を改善し、気軽に利用できる施設を目指すとともに、テーマ別図書の期間展示や施設見学での体験機会の充実を図ってまいりました。

そこで本年度は、①個別学習コーナーの利用促進、②児童書等の充実を重点に進めてまいります。なお、毎週水曜日と木曜日の利用時間を変更したことにより、一般町民や児童生徒の利用増加が見られたことから、引き続き利便性を検討してまいります。

スポーツの振興

町民の交流を促し健康を保持増進する役割として、スポーツに親しむ環境づくりが大切であります。

昨年度においては、町民マラソン大会を柱とし、かけっこ教室の開催、様似小学校プール体験事業、女性向け「なでしこフットサル教室」等のスポーツ教室を開催し、スポーツ振興を推進してまいりました。

そこで本年度は、①スポーツ教室や百人浜町民マラソンの充実(未え学)、②体育関係団体との連携(体育協会、少年団等)を重点に進めるとともに、スポーツ施設の維持・環境整備に努めてまいります。

えりも型地域学校の推進

昨年度からは、地域住民が学校運営に参画し、学校と地域が力を合わせて児童生徒の成長を支える仕組みづくりができました。

そこで、本年度は、①学校運営協議会、②地域学校サポート本部の2点を重点に一步一歩進めてまいります。

以上、令和2年度の教育行政に関する方針について申し述べましたが、本年度は学校教育においては各組織の総括的連携と地域学校の機能充実、東洋小学校の統合準備、情報通信の段階的整備、社会教育においては学校教育への支援と地域づくりを柱に「すべては子どもたちと町民一人ひとりのため」を合言葉に、教育委員会一丸となつて「えりもの教育」を進めてまいりますので、町議会並びに町民の皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。

道の全道 春の防災 運動



期間中、毎日お昼の12時5分に全地区一斉に防災無線のサイレンを吹鳴します。

4月20日から30日まで「ひとつずつ『いいね!』で確認火の用心」をスローガンに、春の全道火災予防運動が実施されます。空気が乾燥し、強い風が吹くなど、火災が発生しやすい時季を迎えます。火災の多くは不注意や、ちょっとした油断から発生しています。住民一人ひとりの対策や心掛けによつて火災を防ぐことができますので、火の取り扱いには十分注意しましょう。

※火入れをする際は、必ず消防へ連絡して下さい。

☎ 消防えりも支署

☎ ②2038

町職員の人事異動



令和2年4月1日付けで、町職員の人事異動がありましたので、お知らせいたします。



課名	新	氏名	旧
議会事務局	議事係長	富沢 有希子	総務課職員厚生係長
総務課	職員厚生係長 兼 行財政改革推進室行革担当	武田 美佳	企画課広報係長
	庶務係 兼 職員厚生係 兼 情報管理係 兼 行財政改革推進室行革係	高岸 太	総務課庶務係
	財政係 兼 庶務係	川村 綾	新採用
企画課	課長 兼 映画製作準備室長 兼 広報係長	石川 慎也	企画課長
	振興係長 兼 映画製作準備室映画製作担当	佐々木 大輔	企画課振興係長
	振興係 兼 防災係 兼 映画製作準備室映画製作担当	東 大輔	企画課振興係
	広報係	三浦 香菜子	税務課課税係
	広報係 兼 振興係 兼 防災係	山本 陸斗	社会教育課社会教育係
	防災係長	伊吹 達也	産業振興課水産係長
	防災係 兼 振興係	中村 佑也	新採用
税務課	課税係長	山本 裕文	保健福祉課医療給付係長
	課税係	東 隼行	保健福祉課高齢者福祉係
出納室	出納係	大石 侑	えりも高校学務係
町民生活課	戸籍係	銅谷 美和	総務課財政係
	社会係 兼 年金係	根上 賢志郎	学校教育課学校管理係
	清掃係	中澤 宏誌	企画課防災係
保育所	中央保育所保育士	金濱 明子	新採用
	庶野保育所長	佐原 しのぶ	中央保育所主任保育士
	庶野保育所保育士	長内 恵美	えりも岬保育所保育士

課名	新	氏名	旧
保健福祉課	医療給付係長	中川真紀	議会事務局議事係長
	医療給付係	高岸海里	町民生活課社会係
	高齢者福祉係 兼 障がい福祉係 兼 介護保険係 兼 保健予防係 兼 保健指導係 兼 地域包括支援センター 介護支援係	脇元優斗	国保診療所総務係
産業振興課	課長補佐 兼 水産係長	中川雅三	産業振興課商工観光係長
	商工観光係長 兼 風の館管理係長 兼 映画製作準備室映画製作担当	松浦弘典	企画課防災係長
	商工観光係 兼 風の館管理係 兼 映画製作準備室映画製作担当	佐藤孝弘	産業振興課商工観光係
	商工観光係 兼 風の館管理係 兼 映画製作準備室映画製作担当	大久保晶文	新採用
	栽培漁業係	渋田裕信	町民生活課清掃係
建設水道課	課長	高橋誠也	建設水道課長 兼 建設管理係長
	建設管理係長 兼 建築管財係	岩間孝太	建設水道課建築管財係
学校教育課	学校管理係 兼 学校教育係	菱沼嘉人	新採用
社会教育課	児童クラブ係	田中克樹	産業振興課商工観光係
えりも高校	事務長（課長補佐職）	神田朋晃	えりも高校事務長
	学務係	脇坂久也	産業振興課栽培漁業係
国保診療所	総務係 兼 医事係	川上大地	税務課納税係
退職者（令和2年3月31日付）		東悦子	庶野保育所長
		沼崎律子	国保診療所主任看護師
		明井彩華	中央保育所保育士
		角地舞美	町民生活課戸籍係
		山田拓身	地域包括支援センター 介護支援係
		富川莉子	保健福祉課医療給付係
		渋田浩二	社会教育課児童クラブ係 （再任用期間満了）

マイナンバーカードの申請・受取りと マイナポイントの予約について



マイナンバーカードは平成27年11月以降に発送された通知カードに同封された申請書、役場窓口、またはインターネット等で申請することができます。カードが発行されるのは申請してから1か月から2か月後です。カードを申請された方でまだお受け取りになっていない場合は、町民生活課（窓口①）までお越しください。

また、国の消費活性化策で、マイナンバーカードを利用した「マイナポイント事業」が令和2年9月より開始される予定です。マイナポイントとは、キャッシュレス決済サービスを用いた買い物に利用できるポイントのことで、マイナンバーカードを取得のうえ、マイナポイント予約（マイキーID設定）を行い、一定額の前払い（チャージ）をすると、その金額に対し25%（最大5,000円）のマイナポイントが付与されるものです。詳細は総務省の特設ホームページをご覧ください。なお、マイナポイントの予約は対象のスマートフォン、パソコンまたは役場窓口にて受付可能です。

■お問い合わせ先

マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178
町民生活課戸籍係 ☎ 2-4621



マイナポイントを活用して
お得にお買い物！



ほっかいどうヘルスサポートレストラン



北海道では、食品選択や外食摂取において、健康管理上の適切な選択を支援し、道民の健康づくりに資することを目的に、令和元年10月より新たな食環境整備事業として、「ほっかいどうヘルスサポートレストラン推進事業」を開始いたしました。

登録の対象店舗は、外食料理店（喫茶店を含む）及びそうざい製造業、コンビニエンスストア、スーパー、社員・学校食堂等です。

登録は三つ星制としており、道が提供する健康情報等の発信を行うことと店内を禁煙にしていることを必須要件とし、一つ星店として登録。

これに加え、顧客の要望に応じた健康を支援するオーダー対応ができる店舗を二つ星、さらに健康に配慮したメニューとして、栄養バランスメニューや野菜たっぷりメニュー、塩分控えめメニューのどれか一つを提供するお店を三つ星店として登録いたします。

北海道からは健康づくりに関連する情報を、月に一度メールマガジンで配信し、北海道栄養士会や管理栄養士養成施設からの普及啓発ツールの配信等も行います。また、北海道全調理師会と協力した事業の推進など、協力機関と連携して事業を推進します。

登録届出書の様式は、道立浦河保健所、もしくは北海道のホームページより入手可能です。次のウェブサイトアドレス（URL）もしくはQRコードからアクセスしてください。

☞ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/hhsr/top-02.htm>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



■お問い合わせ先

詳しくは、道立浦河保健所(☎0146-22-3071)にお問い合わせください。

北海道のカメラ女子が札幌で写真展とトークショー



町の魅力を紹介するチームとんがりの吉沢さん



チームそらちとチームとんがりの参加者で記念撮影

北海道カメラ女子の会（渡邊真弓代表）は、2月23日に北海道初のイベント、写真展&トークショー「まちフォトク」を札幌市で開き、参加者と写真を通して地域の魅力を再確認しました。

道内に住む女性写真愛好家をゆるやかにつなぎたいという思いから、写真家の渡邊真弓さん（札幌市）が、2014年に「北海道カメラ女子の会」を立ち上げました。渡邊さんと空知管内にある岩見沢市観光協会とのプロジェクトで誕生した「チームそらち」。また、日高東部3町と十勝管内広尾町でつくる四町広域宣伝協議会（事務局・浦河観光協会）とのプロジェクトで誕生した「チームとんがり」。このカメラ女子の会2チームの合同イベントです。

トークショーでは、四町広域宣伝協議会の中川貢さんが、チームとんがりの取り組みを説明し、4町から一人ずつスライドでそれぞれの町をPRしました。えりも町から参加した吉沢一美さんは、襟裳岬の初日の出や豊似湖の写真で、えりも町の魅力を解説しました。

日高信金えりも支店で 北海道カメラ女子の会「チームとんがり」写真展を開催

日高信用金庫は、四町広域宣伝協議会と各事業での協力と展開が広がることを目指しています。

北海道カメラ女子の会「チームとんがり」は、楽しみながら町を発信することを目的に、四町の素敵な場所の写真を撮り、個々にSNSで発信をしています。

日高信用金庫としても、ご来店されたお客様に、地元の良さを再発見する場のひとつとして、開催するに至りました。是非、お気軽にお越しください。



- ◇日時 4月20日(木)～5月1日(金)（土・日・祝日を除く） 9時～15時
- ◇場所 日高信用金庫えりも支店（店舗内ロビーに20点が展示されます）



※北海道カメラ女子の会「チームとんがり」写真展は、日高信用金庫えりも支店を皮切りに、日高信用金庫の各店舗で開催される予定です。



新しくなった悲恋沼のほりにある野鳥観察台

野鳥や花をゆっくり観察

国有林野を中心に活動している日本森林林業振興会札幌支部は、悲恋沼周辺の木道と野鳥観察台の補修を昨年から行い、1月に完成しました。

平成13年度に整備された木道と野鳥観察台は、老朽で腐食し、町の担当者が補修をしてきましたが、本格的な修理が必要になり、公益目的の事業として環境施設の整備を実施している同振興会に、町が補修の協力を相談していました。

学 ぶりも高卒業式 びやから28人が卒業

えりも高(佐藤健校長)の第31回卒業式が、1日延期して行われました。式典は同校体育館で、卒業生と教職員のみで行い、卒業生28人が一人ひとり登壇し、佐藤校長から卒業証書が手渡されました。佐藤校長は式辞で「本校の校歌の一節にある“修むる技に心を磨く”の精神をこれからも忘れずに」と呼び掛けました。答辞は、卒業生代表の中村優花さんが、家族や先生方へ感謝の言葉を述べました。



佐藤校長から卒業証書を受け取る卒業生

平成24年広報紙 で見る町の歩み

主な出来事

目黒トンネル完成
放課後児童クラブ開設
交流館ひなたオープン
交通事故死ゼロ2千日
表紙

平成24年3月号
「えりも漁協直売所
がオープン」



1月末の町内人口は5397人、2176世帯。えりも漁協直売店が2月に開店し、地元産海産物が好調な売れ行きを見せる。平成20年に着工した国道の目黒トンネル1876mが完成し、安全通行が高まる。日高管内教育実践表彰で、駒踊りの保存・伝承に活躍する「勇駒会」(吉田忠喜代表)が受賞する。町郷土資料館の支援団体・北緯42度の会が「手づくり郷土賞」で国交大臣から表彰される。

町内での「交通事故死ゼロ」が、4月1日で管内初の2千日を達成。旧老人福祉寮を改装して4月から「放課後児童クラブ」を開設し、3年生までの児童25人が登録する。類似町の池田建設(池田尚登社長)が会社創立60周年記念で、町に300万円を寄付。本町商店街に、誰もが気軽に利用・立ち寄れる「町交流館・ひなた」がオープンする。

襟裳岬・風の館が6月1日に15周年を迎え、歌手の島倉千代子さんと森進一さんからお祝いメッセージの色紙が届く。津波避難対策で町が実施した「標高調査」結果を町内の各施設にプレートで表示する。町福祉センターが20日、えりも岬・林業総合センター23・6日、庶野保育所25日など。

8月の「第39回えりもの灯台まつり」歌謡ショーには、テレビで活躍中のものまねシンガー・荒牧陽子さんが出演し、2万5千人で賑わう。町商工会では、設立50周年記念事業で町の助成を受けて、初のプレミアム商品券を販売する。

11月、地域力発掘協議会主催の「サケ飯寿司づくり」体験は4年目を迎え、町外から122人が参加する。



左から佐藤校長、北村奏美さん、天野龍誠さん、高橋会長、中村優花さん、川上教育長

模範 ロータリークラブが優良青少年を表彰 模範となる卒業生を称えて

えりもロータリークラブ(高橋祐之会長)は、在学中の成績が優秀で、部活動や生活態度など他の生徒の模範となった、令和元年度えりも高の卒業生3人を、校長の推薦を受けて表彰しました。表彰式は、卒業式後に、同校の校長室で行われました。高橋会長は在学中の努力を称え、卒業生に表彰状と記念品を贈り「それぞれの夢や学業で、これからも活躍されることを願っています」と述べました。

日 日高地区漁協青年部が地域貢献 日本酒の収益で図書カードを寄付

日高地区漁協青年部連絡協議会(右近鉄也会長)は、町へ図書カード10万円分を寄付しました。同協議会は、旭川市の「男山」の原酒を漁船に45日間積み込んで熟成させた、日本酒「ひだか漁師の絆」を日高管内のイベントで販売し、図書カードはその収益金の一部。贈呈式は役場で行われ、右近会長は「えりも町の子どものために役に立てください」と大西町長に目録を手渡しました。



大西町長(右)へ目録を手渡す右近会長(左)



大西町長(左)へ防災備品を手渡す野田部長(右)

防 大盛電機商会在地域貢献 防災備品を寄贈

大盛電機商会(室蘭市・菊地清社長)は、町に懐中電灯20台と非常用ラジオ10台を寄贈しました。

同社は、令和元年度、日高管内などの国道に設置された監視カメラの工事作業で道路規制をし、その地域への貢献活動。同社の野田勲営業部長が役場を訪れ「万が一の災害発生時には、住民が安全に避難できるように、有効に活用していただければと思います」と大西町長に手渡しました。

浦 町交通安全協会の佐藤会長へ感謝状 河署署長が永年功労を称えて

町交通安全協会長を務める佐藤勝さん(大和)が、多年にわたり地域の交通安全活動に貢献した功績で、原田周児浦河警察署長から感謝状が贈られました。佐藤さんは、同会長に平成25年5月に就任し、同年8月に日高管内初となる「交通事故死ゼロ2500日」を達成しました。佐藤さんは、浦河地区交通安全連合会副会長も務めています。贈呈式は役場で行われ、原田署長が佐藤さんに感謝状を手渡しました。



原田署長(左)から感謝状を受け取る佐藤さん(中)と同席した大西町長(右)

こんにちは
保健師です

こころと体 疲れていませんか？

保健センター
☎②4630
保健福祉課
☎②4622

年明けから新型コロナウイルス感染症に関するニュースが継続的に報道されています。

自分が感染するのではないかとという心配や、これからどうなるのかなど先が見えない不安に加え、外出の制限、イベントの中止、マスクや消毒剤の不足など、「いつもの生活」を送ることができないことによるストレスは、こころや体にとっても大きい負担となります。このような状況が続くと、こころや体にさまざまな反応が起こりやすいと言われます。

こころと体のストレス反応

○身体面

- ・寝つきが悪い、すぐに目が覚める
- ・考え込んでぼーっとする
- ・気持ちが暗くなる

○心理面

- ・頭痛、食欲不振、動悸、疲れやすい
- ・イライラしやすい、怒りっぽい
- ・やる気がでない
- ・集中力がなくなる
- ・ちょっとしたことでも気になってしまう



こころと体を守るために

感染や行動制限など状況改善し、普段の生活を送れるようになると、ストレス症状が自然に収まってくると思われますが、こころと体を健康に保つ生活を送ることで、回復を助けていきましょう。

1 日常生活でのポイント

- ・十分な睡眠、バランスの良い食事をとって、規則正しい生活しましょう
- ・散歩や体操など適度な運動を心がけましょう
- ・信頼できる友人や家族と話をしましょう
- ・気持ちを落ち着かせるためだからと言って、タバコやアルコールに頼るのはやめましょう

2 事実をちゃんと把握しましょう

- ・情報源が明らかな正しい情報と知識を得るようにしましょう
- ・不安をおおるようなメディアを見る時間を減らして、心配や焦りを減らしましょう
- ・感染拡大による不安から、「噂やデマ」が発生することがあります。情報を発信するとき、受け取るときは、まずは落ち着いて、正しい情報かチェックするようにしましょう。

子どものかかわり

大人が考える以上に子供は過敏で不安になりやすいので、安心感を与えることが基本になります。長期休校から新学期を迎えるなど心配や不安になるのは当たり前な気持ちなので、その気持ちを口に出せる機会を持つようにしましょう。こういう機会にこそ、お子さんとコミュニケーションを密にすることを勧めます。



このような非常時こそ助け合い、お互いを思いやる言葉や行動で、困難を乗り越えていきましょう。心の不調が続く場合は、無理せず、医師やカウンセラー、こころの相談等に相談してください。

こころの相談

浦河保健所 ☎0146-2223071
保健福祉課 保健指導係 ☎2-4630

4月の保健メモ

場所：保健センター 予約：☎②4630

8日(木)・22日(木) 浦河ひがし町診療所巡回診療

【時間】 14時～15時 ※5/20・5/27も開催

【要予約】 上記診療所へ(☎0146②7800)

1日(土) 肝がん検診

【時間】 8時～14時

【要予約】 肝がん検診団へ
(月曜～金曜日 ☎011-708-8080)

※保健センターの予防接種は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規の予約は受付しておりません。5月以降は実施する予定です。決定次第広報や町ホームページでお知らせいたします。

町外で予防接種ができる医療機関

○浦河赤十字病院 問小児科☎0146②5111

ロタ、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、麻しん風しん、水痘、日本脳炎、

○広尾町ファミリークリニック 問☎01558②2700

インターネット要予約 ロタ、ヒブ、肺炎球菌、B型肝炎、BCG、四種混合、麻しん風しん、水痘、日本脳炎

▷ロタウイルス・おたふくかぜの任意の予防接種は、浦河赤十字病院または広尾ファミリークリニックで受ける事ができます。町で半額を助成していますので、接種前に印鑑をご持参の上、保健福祉課へお越しください。

▷大人の風疹の予防接種の助成を希望される女性の方は、接種前に風しんの抗体検査の結果がわかるものと印鑑をご持参の上、保健予防係へお越しください。

▷不妊治療への助成を行っています。保健予防係へお問い合わせください。

春の特定健診・がん検診 申込受付中



健診会場が混雑しないように、30分あたりの受付人数を減らしています。各会場の受付時間が延長や変更になっていますので、ご確認ください。



日程	会場	受付時間	変更点
4月21日(火)	保健センター	① 6時 ② 6時30分 ③ 7時 ④ 7時30分 ⑤ 8時 ⑥ 8時30分 ⑦ 9時 ⑧ 9時30分 ⑨ 10時	22日⑧、⑨ 延長
4月22日(水)			
4月23日(木)	岬林業センター	① 6時 ② 6時30分 ③ 7時 ④ 7時30分 ⑤ 8時	⑤ 延長
4月24日(金)	庶野生活館	① 6時 ② 6時30分 ③ 7時 ④ 7時30分 ⑤ 8時	時間変更
	目黒生活館	① 10時	

健診項目

特定健診・胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・ピロリ菌検査
・肝炎ウイルス検査・エキノコックス検査

※特定健診・がん検診は予約を満たしていない時間帯があります。ご希望の方は健診前日までお申し込み頂けますのでお問い合わせ下さい。 【保健福祉課保健指導係 ☎②4630】

一般書

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
ブレイディみかこ
はじめてのやせ筋トレ とがわ 愛
あしたの君へ 柚月 裕子

児童書

なんだろうなんだろう ヨシタケ シンスケ
まよなかのせんろ 鎌田 歩
すみっコぐらし心理テスト 阿雅佐

◇図書室からのお知らせ

4/23の「子ども読書の日」に関連し、日本
絵本賞(全国学校図書館協議会と毎日新聞社
主催)を受賞した図書のコーナーを次の期間
に設置します。図書の貸し出しも行います
ので、ぜひご利用ください。

●期 間 4月15日(木)～5月7日(木)

防災 情報版 No.112

この春は新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、学校をはじめとして生活の様々な場面で影響が出ています。我々の地震火山研究観測センターでも、毎年3月下旬に地震や火山に関するテーマを決めてシンポジウムを開催していますが、今回は残念ながらこの影響が落ち着くまで延期することになりました。大学の卒業式も中止が決まり、この春卒業・修了する学生さんたちにお祝いを直接伝えられない最後となりました。人の命に関わることなので致し方ありません。

ニュースでデマや買い占めのことを耳にすると、9年前の2011年東北地方太平洋沖地震後のことを思い出します。感染症の影響にしても地震などの自然災害にしても同じですね。何もない普段の生活を送っている間に、正しい情報を集める方法や生活必需品の備蓄状況を確認しておくことが大切です、その習慣が自分から家族、周りの人、そして住んでいる地域の人たちに広がれば、少しでも混乱は防げるはずです。私たちは非日常を経験するたびにこのようなことを学習しているはずなのに、いつか忘れてまた同じことを繰り返してしまいがちです。もう一度、毎日ではなくとも、時々でいいので思い出し、少しずつ備えておきましょう。

北海道東部、千島海溝の地震発生確率の高さは、新型コロナウイルスの影響があろうがなかろうが関係ありません。もし今この時期に大きな地震が発生し、避難場所に行くとなったとき、集団感染にもいっそう気を付ける必要がでてきますし、他にも追加で考えなければならないことが出てくると思います。冬なのか夏なのか、朝なのか昼なのか、家の中にいるのか外にいるのか、といったことと同様に、色々な「もし」のケースを想定して、それが本当に起こったとき実際の判断に活かせるよう、考えておいてみてはいかがでしょうか。



大園 真子

北海道大学地震火山研究観測センター准教授。博士(理学)。東北大学で博士の学位を取得後、北海道大学地震火山研究観測センター・研究員、山形大学理学部・講師を経て2016年4月より現職。地震や火山に関する地殻変動が専門。

くぐいで一句

えりも吟社

隣家無くなりわが窓に冬の風
買物をレジに忘れて初笑い
気負いなき老後の日々や冬うらら
節分の 神前に豆供へおり
雪しまく胸に抱きたる 処方箋
わらべ唄温めて太るふきのとう

鈴木 勇高
長岡 青風
佐々木 蓉子
佐々木 凌子
柴田 岳人
小山内 栄峰

おすすめの **新刊** 情報

本

図書室だより

- 開室日時
月・金・土・日曜日
9時～17時
水・木曜日
10時～18時
- 閉室日
火曜日
祝日・年末年始



図書室マスコットキャラクター
BOOK(ブック)くん



眠れる美しい生き物

著者 関口 雄祐 出版社 エクスナレッジ

眺めていると眠たくなる、動物たちのキュートな寝姿を集めました。全90種の寝相とともに「なぜそのように眠るのか？」知られざる生態にも迫ります。読めば生き物がもっと愛おしくなる、癒しの写真集。



かべのすきま

文 中西 翠 出版社 アリス館

今夜は、ほくひとり。かべから出てる糸みたいなのをひっぱったら、かべにすきまができた。かべのすきまからでてきたのは、大阪弁をしゃべるおばちゃんたち！

〒福祉センター図書室

☎2526 E-Mail : erimolib@seagreen.ocn.ne.jp

ヒドリガモは越冬のため日本に飛来するカモの仲間です。雌雄ともにクチバシは青灰色で先端が黒く、オスは、頭部が赤茶色で額部分がクリーム色、体の上部は灰色。メスは、全体的に褐色で、上面の羽は黒く、茶色の縁取りがあります。ヒドリガモという名前の由来は、オスの頭部の赤茶色を緋色と例えたことから緋鳥（ひどり）そこからヒドリガモという名前になったといわれています。

主に浮葉植物や沈水植物などの水草、藻類などを採餌しますが、陸に上がり農耕地や草地などで麦などを採餌することもあります。このような食性から、海苔の養殖が盛んな有明海（九州）や日本各地の麦畑などで被害の確認されています。

えりも しりょうかん MUSEUM

えりもの生き物

ヒドリガモ

22



【写真：ヒドリガモ】

河川や湖沼などで生活する淡水性のカモの仲間ですが、ヒドリガモは沿岸部で見られることも多く、えりも町内では、港湾内や船揚げ場付近で見られ、時には採餌のため、学校のグラウンドに飛来することもあります。

防犯



浦河警察署

春の交通安全運動の実施
～見過ごすな 信じて挙げた
小さな手～
☎0146②0110

運動期間

4月6日(月)～4月15日(金)の10日間

交通事故防止のポイント

- 通園・通学する子供たちを交通事故から守りましょう！☞家庭や地域の大人が手本となって、基本的なルールやマナーを教え、交通安全意識を高めていきましょう。
 - 高齢運転者の皆さん、交通ルール・マナーを守り安全運転を！☞信号機や一時停止の標識などを見落とさないように気をつけましょう。ブレーキとアクセルの踏み間違いに気をつけましょう。
- 道民一人一人が、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という強い気持ちで北海道から飲酒運転を根絶しましょう。



空き家



空き家情報登録制度

町のホームページでも公開中です
☎町民生活課環境生活係
☎②4621

空き家情報の登録は「役場 町民生活課 環境生活係」まで。購入を希望される方は「所有者」へ直接連絡して、交渉・契約をお願いします。

●今月の空き家情報

物件内容 と所在地	売却希望 土地付き木造住宅 字東洋58
連絡先	☎080-5514-2812 (村上翠)
物件内容 と所在地	売却希望 土地付き木造住宅 字庶野538
連絡先	☎090-7517-4880 (斉藤和之)
物件内容 と所在地	売却希望 土地付き木造住宅 字庶野650
連絡先	☎090-9520-1358 (大島)

募集



自衛官の募集について

自衛隊では、右表の内容で自衛官を募集します。

合格発表日は、応募された方に、後日お知らせします。

●お問い合わせ先

新ひだか町静内浦和125
陸上自衛隊静内駐屯地内
自衛隊札幌地方協力本部
静内分駐所
☎0146-44-2855(直通)

募集コース	応募資格	応募の受付期限	採用試験日
令和2年度 第1回 一般曹候補生 (男女)	18歳～32歳	応募 受付中 5/15☎ まで	(一次・男女とも) 5/23☎
令和2年度 第1回 自衛官候補生 (男女)	18歳～32歳	応募 受付中 5/22☎ まで	男子:5/28☎～ 5/31☎ 女子:5/29☎・30☎ のいずれか1日
令和2年度 一般幹部候補生 (男女)	22歳～25歳	応募 受付中 5/1☎ まで	(一次・男女とも) 5/9☎・10☎ のいずれか1日
令和2年度 第1回 予備自衛官補 (男女)	18歳～33歳	応募 受付中 4/10☎ まで	(男女とも) 4/18☎・19☎ のいずれか1日

法律相談



無料法律相談

ひだか弁護士相談センター

お問い合わせ・予約先
☎0146④8373

- 相談日・会場
4月21日☎ 5月19日☎ 保健センター
- 相談時間
13時30分～16時
※事前予約制(予約受付:平日10時～16時)

免許



運転免許更新時講習

岡町民生活課環境生活係
☎②4621

- 講習日・会場
4月9日☎ 福祉センター
- 講習時間
○優良講習 13時～13時30分
○一般講習 14時～15時

医療



町立診療所と道立庶野診療所の診療予定表

4月1日～4月30日

岡町立診療所 ☎②2265 道立庶野診療所 ☎④2219

4月1日から4月30日までの診療予定は、右表のとおりです。

また、町立診療所の診療は、町の公式ホームページからも確認できます。トップページから国民健康保険診療所のページへアクセスしてご覧ください。

なお、都合により診療予定が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

●受付時間

◇町立診療所

8時30分～11時30分

13時～16時30分

◇道立庶野診療所

9時～11時30分

14時～16時30分

●診察表の見方

○…診 察

訪…訪問診療

健…学校健診

施…施設訪問

目…目黒診療

休…休 診

	町立診療所				道立庶野診療所	
	内科		外科		午前	午後
	午前	午後	午前	午後		
4/1 水	○	○			休	休
4/2 木	○	健			休	休
4/3 金	○	○			休	休
4/6 月	○	○			休	休
4/7 火	○	健			休	○
4/8 水	○	○		※①	○	休
4/9 木	○	目			休	休
4/10 金	○	○			休	休
4/13 月	○	○			休	休
4/14 火	○	施	○	○	休	休
4/15 水	○	○	○	○	休	休
4/16 木	○	健	○	○	休	休
4/17 金	○	○		※②	休	休
4/20 月	○	○			休	休
4/21 火	○	健			○	○
4/22 水	○	○			○	○
4/23 木	○	訪			○	休
4/24 金	○	○			休	休
4/27 月	○	○			休	休
4/28 火	○	施			休	休
4/29 水	休 診 (昭和の日)					
4/30 木	○	健			休	休

【常勤医師就任のお知らせ】 4月1日付けで小山典晃こやま のりあき医師が診療所副所長として就任しました。診療科は内科を担当します。

※① 大庭医師の診察は、4/8の午後2時から。

※② 荻原医師の診察は、4/17の午前9時から。

※ 柴野医師の診察(予約診察となった患者さん)は、午前10時から。
(4/3・6・13・17・20・24・27)

※ 受診をご希望で、発熱・せきといった風邪症状などがある方は、来院前に診療所へ電話相談をお願いします。

※ 毎週火曜日・木曜日の午後は、訪問診療などのため、急患等の診察のみ。

●救命胴衣等の着用義務化について

☎産業振興課水産係 ☎②4624

小型船舶乗船者の海中転落による死者・行方不明者は毎年80人前後であり、これら事故での救命胴衣着用率は低いというのが現状です。しかし、救命胴衣等を着用した際の生存率は、着用しない場合の2倍以上と大きく変わることから、原則として船室外にいる全ての乗船者にその着用を義務づけることを趣旨とする「船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則」の一部改正が行われました。

(平成29年2月1日公布、平成30年2月1日施行)

万が一の事故に備え、救命胴衣を必ず着用することを常に心がけるようお願い致します。

●有毒植物による食中毒に注意しましょう

☎浦河保健所生活衛生課食品保健係

☎0146②3071

◇食べられるかどうかの判断がつかない山菜は採らないようにしましょう。また、食べないようにしましょう。

◇有毒植物は、山菜と混ざって生えることがありますので、よく確認し注意しましょう。

◇料理する前に有毒植物が混ざっていないかも一度確かめましょう。

◇採った山菜をみだりに人に譲ることはやめましょう。

◇庭の草をむやみに食べないようにしましょう。

※2019年は道内で3件の植物性自然毒による食中毒が起きています。(保健所や振興局に毒草ハンドブックを置いています。ご自由にお持ちください)

●令和2年度保険料率改定のお知らせ

☎全国健康保険協会(協会けんぽ)北海道支部

☎011-726-0352(代表)

令和2年3月分(4月納付分)から健康保険料率は10.41%(プラス0.10ポイント)、介護保険料率は1.79%(プラス0.06ポイント)となります。健康保険及び介護保険料率の引き上げに関しまして、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

4月の行事予定

- 7日(火) えりも中学校入学式
8日(水) 笛舞小学校入学式
えりも小学校入学式
東洋小学校入学式
えりも岬小学校入学式
庶野小学校入学式
えりも高等学校入学式
20日(木) 森と湖の里ふれ愛館オープン
(目黒/10時~16時)
百人浜オートキャンプ場オープン
百人浜パークゴルフ場オープン
27日(木) スポーツ公園オープン(9時~21時)

ご厚志に感謝

- 三浦 明美さん(大和)
社会福祉協議会へ 30,000円
○福嶋 いずみさん(えりも岬)
えりも岬連合自治会へ 30,000円
○法光寺 住職 佐野俊也さん・副住職 佐野隆也さん
社会福祉協議会へ 46,524円
○吉井 早苗さん(新浜)
柏台自治会へ 50,000円
社会福祉協議会へ 20,000円
○長坂 節子さん(本町)
住吉自治会へ 50,000円
社会福祉協議会へ 100,000円
やまと苑へ 200,000円
○上野 且江さん(近浦)
近笛連合自治会へ 50,000円
近浦自治会へ 200,000円
社会福祉協議会へ 200,000円
○大高 孝一さん(大和)
西えりも連合自治会へ 50,000円
○鹿島 義一さん(庶野)
庶野中央自治会へ 30,000円
○藤井 誠子さん(大和)
大和第1自治会へ 20,000円
大和第2自治会へ 20,000円
○えりもロータリークラブ
社会福祉協議会へ 70,000円
えりも福祉会へ 130,000円

暮らしの 掲示板

4

2月末の人口と世帯数

人口 4,615人（－8）
男：2,327人（－4）
女：2,288人（－4）

世帯数 2,134世帯（＋2）

※外国人含む、（ ）内は前月比

2月末の人口動態

出生0人 死亡6人 転入3人 転出5人

自治会役員の皆様へお願い

自治会の役員、班長、世帯数などに
変更があったときは、企画課広報係
【☎②4612 FAX②4633】までご連絡を
お願いいたします。



文芸えりも 第29号 発行

町文化協会は3月に「文芸えりも第29号」
を発行しました。

一般公募で集まった随筆、小論、詩、俳句、
短歌など全36作品が収録され、その内14作品
は、えりも高生が高校生の目線で書いた随筆や
詩などで参加しています。表紙は、昨年えりも
町で開催された道高文連苦小牧支部の美術展
で優秀賞を受賞した前田萌花さん（3月当時、
えりも高2年・美術部）の作品（油彩画）です。
サイズは、A5版の68ページ。希望者には1冊
500円で頒布し、現在、第30号の作品も募集して
います。（募集期限
は令和2年11月末を
予定しています）



町文化協会事務局
（社会教育課社会教育係）
☎②2526

お知らせ

●障がい者相談支援事業所「ういず」をご利用ください

障がい者相談支援事業所「ういず」

☎/FAX0146②6246

相談支援事業所「ういず」では、障がいのある方の
困りごとや相談に答えるため、来所や電話、訪問に
よる相談のほか、月に一度、巡回相談を無料で行っ
ています。お気軽にご相談ください。

◇日時 4月20日（月） 10時～12時

◇場所 役場1階 保健センター

●定例行政相談所の開設

総務課庶務係 ☎②2111

総務省の行政相談は、国など行政への苦情や意
見・要望を受け付け、相談者と行政機関の間に立ち、
公正・中立の立場から、問題解決を目指す制度です。
実際の相談は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談
委員が対応します。

毎月、第4火曜日の10時から12時まで、定例で
行政相談所を開設します。困りごとや苦情・ご意見・
ご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

【担当行政相談委員】 鍵谷 俊一

◇日時 4月28日（火） 10時～12時

◇場所 保健センター 1階 集団検診室

●健康相談会のご案内

勤医協浦河診療所 ☎0146②2501

健康で過ごすために、日常的に意識すること、
知ってほしいことなど、分かりやすくお話しし
ます。どなたでもお気軽にご参加ください。

◇日時

4月18日（土） 10時30分～

◇場所

交流館ひなた 2階（参加：無料）

◇お話しする人

澁谷 讓 医師（勤医協浦河診療所所長）

●建設水道課水道係からのお知らせ

建設水道課水道係 ☎②2115

建設水道課水道係では、令和2年度簡易水道水質
検査計画及び平成31年度（令和元年度）簡易水道
水質検査結果を、役場建設水道課水道係の窓口で
公開しています。

詳しい内容につきましては、建設水道課水道係
までお問い合わせください。



3月の春分の日から始まる連休最終日の22日、札幌や帯広方面から家族連れなどの観光客が襟裳岬にドライブに訪れ、風の館屋外展望台から襟裳岬の岩礁帯を眺めたり、記念撮影を楽しんでいました。今シーズンの風の館の開館は延期になり、5月1日オープン予定です。



3月11日の夕暮れ、百人浜に2羽のタンチョウヅルが、白と黒の美しい羽根をなびかせながら、仲良く歩いていました。春は繁殖期なので、巣作りの場所を探しているのでしょうか。邪魔をしないよう静かに遠くから見守りました。
写真提供：カメラ女子の会「チームとんがり」会員

街角トピックス



新型コロナウイルスの感染予防のため、各学校が臨時休校となり、自宅待機や分散登校が続く児童に対し、自宅での学習や読書に親しむ時間に活用してもらおうと、移動図書館車による本の臨時貸し出しを行いました。3月16日は、笛舞小の前に移動図書館車が到着し、分散登校中の児童が手を消毒してから、順番に車に乗り込んで本を選びました。この日の笛舞小では、19人が46冊を借りました。



2月22日、町民吹奏楽団とえりも中吹奏楽部の「スプリングコンサート」が福祉センターで開かれ、親子連れなど町民31人が来場し、15人が演奏する童謡やアニメ曲などを楽しみました。演奏は、町民吹奏楽団の嵯峨直樹団長が指揮をとり、春の童謡メドレーでスタート。ジブリメドレーやofficial髭男dismメドレーなどを演奏し、アンコールはヒット曲のパプリカでこたえました。町民吹奏楽団は、一緒に演奏を楽しむ団員を随時募集しています。



えりも町公式ホームページ →
スマートフォン版のホームページでは、カラーの「広報えりも」がご覧になれます。



えりも町公式facebook →
観光やイベントなどの情報をより多くの皆様に、いち早くお知らせします！

